

令和3年度第3回中央区緑化推進委員会 議事概要

【出席者】

学識経験者：鈴木委員長、木下委員
区民・事業者代表：中島委員、田中委員、加藤委員
区職員：浅沼委員、望月委員、松岡委員
事務局：水とみどりの課、(株)エイト日本技術開発

【配布資料】

- ・ 議事次第
- ・ 委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 資料-1-1 グリーンインフラガイドライン 前回指摘事項の修正
- ・ 資料-1-2 グリーンインフラガイドライン 次年度の運用について
- ・ 資料-1-3 グリーンインフラガイドライン 今後のスケジュール
- ・ 資料-1-4 中央区グリーンインフラガイドライン 本編 (案)
- ・ 資料-1-5 中央区グリーンインフラガイドライン 技術編 (案)
- ・ 資料-1-6 中央区グリーンインフラガイドライン 概要版 (案)
- ・ 資料-2-1 P-PFI 導入の広報用チラシ (案)
- ・ 資料-2-2 中央区公園の魅力向上に向けた官民連携方針 (案)
- ・ 資料-2-3 中央区公園の魅力向上に向けた官民連携方針 解説 (案)
- ・ 資料-3 令和4年度中央区緑化推進委員会について
- ・ 参考資料 令和3年度第2回中央区緑化推進委員会 議事概要

令和3年度第3回 中央区緑化推進委員会の主な意見内容を示す。

1. 中央区グリーンインフラガイドライン最終案の確認について (資料-1)

	意見内容
中島委員	<ul style="list-style-type: none">・ ガイドライン本編が、ぱっと見てわかりづらいところがある。中央区が目指すグリーンインフラが何かというと、概要版に掲載しているグリーンインフラ基本指針がすごくわかりやすい。本編の最初の方のページに掲載すると良いのではないか。・ 表紙のミツバチの写真がかわいらしいものになると良い。・ ゼロカーボンシティ中央区宣言のページは単にコラムとするより、目次として記載をするページとした方が良い。
木下委員	<ul style="list-style-type: none">・ 技術編について随時更新としているが、年に複数回の更新をする場合などにも、最新版がわかりやすいように、発行年やバージョンの表記をすると良い。

	意見内容
加藤委員	・ 概要版のタイトル「みんなで取り組むグリーンインフラのまちづくり」が親しみやすいので、本編や技術編も同じ表現にすると良いのではないかと。
田中委員	・ 水辺や建物屋上、道路などの緑化といった都市型のグリーンインフラがガイドラインに掲載され、区の地域性を感じられる。自然ではない場所に緑を作るには、土が減れば必ず必要があったり、関わり続けなければならない。そういうメッセージを伝え続けていくことが大事なのではないかと思う。
鈴木委員長	・ 区内には、すでに良い事例がたくさんある。グリーンインフラとして今後より良くしていくために、技術編への反映などにより、それらの事例を技術として、皆さんに知ってもらい、次の行動に結びつける循環ができていくと良い。
木下委員	・ 本編 P.1-5 ガイドラインの使い方の④で技術編が初めて出てくるので、裏表紙の裏面に情報があることを示すと良い。また、ガイドラインが本編と技術編で構成されていることを記載した方が良い

2. 公園の魅力向上に向けた官民連携方針について（資料-2）

	意見内容
木下委員	・ 公表はいつになるのか。 (事務局) 議会での次年度予算の審議後に緑化推進委員会の意見を反映し、4月頃公表ができればと考えている。
加藤委員・鈴木委員長	・ 資料 2-2 の 7 の②について、“地域の事業者なども参画できるよう”という趣旨に対して、具体例として記載されている“時間貸しテナント”や“直売所”が限定的であったり偏った例になっているので修正した方が良い。他の自治体の事例も調べると良い。
中島委員	・ P-PFI は、なかなかうまくいかないという意見も聞いたこともある。行政側の条件が厳しすぎると、事業者側が参加しにくかったり、うまくいかない例が多々あるようである。実際に行っているところに話を聞く機会を設けると良いのではないかと。
鈴木委員長	・ P-PFI がうまくいっているところは、関係者をまとめてくれるような人がいるとよく聞く。地域のリーダーのような方が P-PFI に関わってくると良い。
田中委員	・ 公園は皆さんが日頃からよく使っている場所で不満が出やすい。周辺住民とうまくいかないと、事業者側も困ってしまうだろうから、目的をしっかりとっていないといけない。公園周辺に住民が多い場所や少ない場所で、使い方の違いもあるだろうから、事例を見せてもらえると良い
鈴木委員長	・ 資料 2-1 の 2 民間事業者の募集条件について、“財政負担の低減”は必要な項目ではあるが、一番最初に書くべきなのか気に掛かる場所である。
加藤委員	・ 財政負担の低減を重視すると、事業者側は管理費を下げるために、収益施設やイベントを増やさないといけなくなり、周辺住民からのハレーションが大きくなる可能性が

	意見内容
	ある。結果的に誰にとってメリットになるのか、わからないものになってしまう恐れもある。
加藤委員・鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポテンシャルのある公園を多くの住民に利用してもらい、生活が豊かになることなどを主目的に財政面はプラスアルファと考えた方がみんなにとって良い形になるのではないかと思う。 ・ 買い手も売り手も世の中も良くなるという、三方良しの考え方が大事だと思う。
望月委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の理解や連携、公園の魅力向上といったところに資することによって、財政負担の低減も図るというふうに表現を修正した方が良い。
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2-2の2では、公園の魅力や質の向上などを重視した書き方になっているが、資料2-1では、追加条件として記載されており、必須条件の次に大事であるような見え方になってしまっている。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政負担の低減という直接的な表現よりも、PFIなので、事業者の創意工夫による管理コストの低減といった表現にうまく修正すると良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の意見を反映し区内部で調整の上、4月以降に公表していきたい。この次のステップで意見をいただきたい場面もあり、議論の場を設けたい。

3. 令和4年度中央区緑化推進委員会について（資料-3）

	意見内容
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期の委員会も同じメンバーを予定しているのか。（事務局）その予定である。 ・ グリーンインフラガイドラインやP-PFIも続くので、その評価までは同じメンバーにお願いしたいところである。